

トピックス

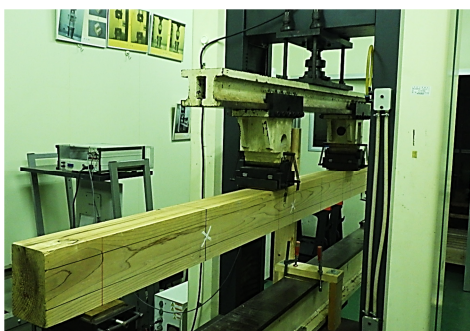
●新たな研究の取り組み

■スギ心去り製材品の生産技術の確立並びに強度特性の解明 (R1～)



心去り製材品(平角, 10.5×15.0×300cm)

本県の人工林は長伐期化を背景に原木の高齢級化及び大径化(特にスギ)が進んでいます。そのため、今後、大径材の供給量の増加が見込まれ、その特性を活かした製材方法・商品開発が必要であり、その方策の一つとして一本の原木から複数の柱・梁桁材が生産可能な心去り製材法(原木の材心部の髄を含まない)が紀州材の需要拡大に繋がると考えられます。そのため、スギ心去り材の生産技術の確立並びに強度の解明を目的に本年度から継続的に試験調査を行うこととしており、現在、平角の強度試験を行っています。



曲げ強度試験

(木材利用部 坂本)

■法眼主任研究員が全国林業試験研究機関協議会の第31回研究功績賞を受賞!

全国林業試験研究機関協議会では、毎年、地域における研究で顕著な業績を上げた職員並びに技術の普及に功労のあった職員を表彰しています。

今回の受賞は、法眼利幸主任研究員が、長きにわたり取り組んだ「農林業の鳥獣害対策に関する研究」によるものです。特に本県の農林業に適合した獣害対策を明らかにするため、イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル等の生態、生息環境管理、個体数管理に関する研究を実施しました。中でも、ニホンジカについて、ライトセンサスにより、夜間にシカの集まる地点を明らかにし、誘引餌試験により嗜好性の高い餌と群れ規模からワナの選定を行い、さらに、センサーカメラで確認しながら餌付けするという手法により、効率的な捕獲が可能となることを明らかにしました。

こうした成果は、学会などで積極的に公表するとともに、行政、農林業、狩猟関係者等を対象とした講演会・研修会において普及、啓発に務めたことが認められ、平成31年1月17日に今回の受賞となりました。

※今回、全国で9名が受賞。本賞の受賞は和歌山県では3人目となります。



(前列中央が本人)

編集・発行

〒649-2103 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬 1504-1

和歌山県林業試験場 TEL0739-47-2468 FAX0739-47-4116

HP<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070109/gaiyou/006/index.html>

林業試験場だより 第81号 令和元年8月発行